



冬季の乳質管理について

冬期の乳質管理の要点をまとめました。良質乳出荷の一助となれば幸いです。

■パイプラインの洗浄温度を保つ

アルカリ性洗剤、酸性洗剤による洗浄は、洗浄温度60～80℃、排水時の温度は40℃以上が推奨されています。

冬季は推奨温度が保ちにくく、汚れが残り、生菌数が増加する場合があります。排水時の温度を確認し、40℃未満の場合は対策を検討しましょう。

【主な対策】

- ・ボイラーの容量を大きくする。
- ・前すすぎの温度を50℃以下の範囲でなるべく高くする。
注：高温による前すすぎは、タンパク汚れが付着するので避ける。
- ・排水時温度が40℃以下にならないよう、調整する。

■乳頭の荒れに注意し、汚れはきれいに拭き取りを

乾燥する冬季は、乳頭が荒れやすくなります。ひび割れや深いしわができると、そこに入り込んだ汚れが落としにくくなり、乳房炎感染の要因となります。

【主な対策】

- ・保湿効果の高いディッピング剤を使用して、乳頭の荒れを防ぐ。
- ・温かい脱水タオルやプレディッピング剤で、十分ふやかしてから拭き取る。
- ・乳頭側面はねじるように、乳頭口はこするように、乳頭の汚れは意識して全て拭き取る。

■こまめな換気とベッドメイキングを

換気不足の条件下では牛床が湿りやすく、乳房炎発生のリスクが高まります。また、空気中のアンモニア濃度が上昇することで、呼吸器病の要因となります。

【主な対策】

- ・牛舎の窓・扉は内部が凍結しない程度に開けておき、換気扇をゆっくり回す。
- ・外気が暖かく日当たりの良い日中は、換気のため窓・扉をこまめに開閉する。
- ・牛床の除ふんや敷料等の補充はこまめに行い、乾燥状態保持に努める。

■お問い合わせ

